

■どんな商店街？

シャレオテナント会は、平成13年（2001年）4月に開業した紙屋町シャレオ出店者で構成する商店会組織です。

紙屋町シャレオは、広島市の中心部、紙屋町交差点の地下に東西南北に広がる地下街で、広島バスセンターやアストラムライン本通駅・県庁前駅、広島電鉄の紙屋町東・西駅に接続する交通至便な立地にあります。

多くの人々が行き交う地下通路沿いにはファッションや雑貨、飲食店やサービスなど様々な店舗が並び、中央広場では毎日のようにイベントが開催される、活気あふれる商店街です。



地下街に「人」と「地域・テーマ」が交わる
新しい空間を ～紙屋町スウイング～

シャレオテナント会

■商店街の課題は？

紙屋町シャレオは、今年令和5年（2023年）4月で開業から22年目を迎えました。

この間、周辺地域では広島トランヴェールビルやエディオン広島本店、ひろぎんホールディングス本社ビルなどが建て替わり、地下街を歩く人の流れも大きく変わりましたが、シャレオ西通りは、平成21年（2009年）の広島市民球場移転後、中央から西端までが220mと長いこともあり次第に往来が減少、空き店舗の増加が課題となっていました。

こうした中、西通りの地上部では、今年（2023年）3月末にイベント広場「GATE PARK PLAZA」が待望のオープンを迎え、また、令和6年（2024年）春の開場を目指して新サッカースタジアムの建設が急ピッチで進んでおり、来街者やその滞在時間の増加が期待されています。



紙屋町シャレオでは、こうした環境変化、地域のポテンシャルの高まりを活用して、収益の向上とともに、広島市都心部ににぎわいと回遊性の一層の向上に貢献していくことが課題となっています。

■来街者の立ち寄り・回遊機能の強化のために

■「紙屋町スウイング」の整備

シャレオ西通りの課題解決のため、今後ユーザーとなる大学生や若手社会人によるワークショップを約1年間開催。アンケートも実施し、「シャレオを訪れる人々が地域の食や情報など様々なテーマに触れ、交流を深める空間に」とのコンセプトをまとめました。

このワークショップの成果を踏まえて、西通り西端の空き区画（60坪）に、
①「誰でも」使える二つのシェアキッチンを整備。飲食の起業支援にも活用。



- ②「多目的に」利用できる、客席を兼ねたヴァリアブルスペースを整備。飲食以外にも展示やワークショップにも。
- ③「映像も」活用できるように、隣接する西広場には大型プロジェクターを整備。パブリックビューイングも可能。

などの新たな機能を詰め込みました。

施設の名称としては、まちを行き交う（SWING AROUND）人々が立ち寄り、憩い、交流する空間となることを目指して「KS紙屋町スウイング」とし、令和5年3月24日にオープンしました。

■変わりゆく街と街、人と人を結びつけるHUB

紙屋町シャレオは「まち」をつないで活気あふれる地下街」を経営ビジョンとしており、このビジョン達成のため、紙屋町・八丁堀・本通り方面と平和記念公園、GATE PARK PLAZAそして新たなサッカースタジアムとの間を行き交う人々を結びつける「HUB」となることを目指します。今回整備した「紙屋町スウイング」はそのための重要なピースとして生まれました。

ここを舞台に、われわれが想像しなかったような新しい、たくさんの交流が生まれることを期待しています。



シャレオテナント会